# 2021年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年２月３日


上 場 会 社 名　　ＮＣＳ＆Ａ株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　9709　　URL　https://ncsa.jp
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　辻　隆博
問合せ先責任者　（役職名）　執行役員常務　経営戦略室長（氏名）　小林　裕明　　(TEL) (06)6946-1991

四半期報告書提出予定日　　2021年２月10日　　配当支払開始予定日　　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

## １．2021年３月期第３四半期の連結業績（2020年４月１日～2020年12月31日）

### （１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年３月期第３四半期 | 14,091 | △13.2 | 513 | △30.2 | 579 | △26.5 | 398 | △54.1 |
| 2020年３月期第３四半期 | 16,230 | 12.7 | 735 | 63.5 | 788 | 65.1 | 867 | 140.7 |

(注) 包括利益 2021年３月期第３四半期　650百万円( △31.5%)　2020年３月期第３四半期　950百万円( 175.6%)

| | １株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年３月期第３四半期 | 22.37 | ― |
| 2020年３月期第３四半期 | 47.28 | ― |

### （２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2021年３月期第３四半期 | 15,886 | 8,993 | 56.6 |
| 2020年３月期 | 17,599 | 9,524 | 54.1 |

(参考) 自己資本 2021年３月期第３四半期　8,993百万円　　2020年３月期　9,524百万円

## ２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年３月期 | ― | 0.00 | ― | 24.00 | 24.00 |
| 2021年３月期 | ― | 0.00 | ― | | |
| 2021年３月期(予想) | | | | 12.00 | 12.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

## ３．2021年３月期の連結業績予想（2020年４月１日～2021年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 19,500 | △13.0 | 650 | △27.5 | 700 | △31.0 | 600 | △47.1 | 34.21 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

連結業績予想につきまして、当第３四半期連結会計期間において自己株式の取得及び消却を実施したことに伴い、１株当たり当期純利益のみ前回公表値より修正しております。詳細につきましては、添付資料３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①　期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2021年３月期３Ｑ | 18,000,000株 | 2020年３月期 | 20,000,000株 |
| ②　期末自己株式数 | 2021年３月期３Ｑ | 1,258,569株 | 2020年３月期 | 1,674,937株 |
| ③　期中平均株式数（四半期累計） | 2021年３月期３Ｑ | 17,801,571株 | 2020年３月期３Ｑ | 18,354,085株 |

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済活動が大幅に制約を受け、景気の悪化が急速に進みました。一部で持ち直しの動きが見られるものの、感染の再拡大が発生するなど、先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、AI、IoT、ビッグデータ、RPA（ロボティックプロセスオートメーション）等の技術を利用して、新しい製品やサービス、新しいビジネスモデルを通じて価値を創造し、競争上の優位性を確立する「デジタルトランスフォーメーション（DX）」や、経済産業省が警鐘を鳴らしている「2025年の崖」問題（老朽化・肥大化・複雑化及びブラックボックス化した既存システムがDX推進の足かせとなり、ひいては国際競争への遅れや経済停滞に繋がる）などへの関心が高まっております。また、このたびの新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い社会のあり方が大きく変化し、ITを活用したテレワーク化やコミュニケーションツールの普及が急速に進みました。この流れを受けて、企業におけるIT活用の重要性が再認識されつつあり、ウィズコロナ・アフターコロナ時代に向け、IT投資は中長期的に拡大していくものと思われます。

このような環境のもと、当社グループは、前期に引き続き「主力ソリューションの商品力強化」及び「営業力の強化」を両輪とした「トップライン（売上）の拡大」を基本方針とし、安定した収益基盤の確立に向け、積極的な投資及び積極的な受注活動を推進いたしました。

当社自社開発の情報システム可視化ソリューション「REVERSE PLANET（リバースプラネット）」につきましては、企業のDX推進に寄与する商品として、既存顧客の深耕やアライアンス先との協業を進めるなど受注活動を強化しており、まもなく導入実績100ユーザーを超える見通しとなりました。当期におきましては、大手金融機関の勘定系システムのプログラム可視化ツールとして正式導入されるなど、売上は堅調に推移いたしました。

同じく企業のDX推進に寄与するサービスとして展開しているマイグレーションサービスにつきましては、「AAA（トリプルエー）」、「AIRS（エアーズ）」といった自社開発ツールを活用し、情報システム資産の移行サービスを「安全・確実・低コスト」に提供しております。当期におきましては、進行中の外資系保険会社向けの大型案件が順調に進捗するなど、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は最小限に留まり、売上は堅調に推移いたしました。

生産管理システム「Factory-ONE電脳工場」をはじめとした製造・流通業向け基幹業務パッケージの導入・カスタマイズ案件につきましては、積極的な受注活動により大型の受注が増加し、売上が伸長いたしました。また、政府の緊急経済対策に関連し、地方自治体向けに自社開発したパッケージソフトウエアの販売・導入が進み、売上及び利益に貢献いたしました。

一方、中堅・中小企業マーケットにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、厳しい受注環境が続き、受注、売上ともに減少いたしました。

新型コロナウイルス感染症への対応といたしましては、社長直轄の「コロナウイルス感染症対策本部」を立ち上げ、日々変化する状況に応じて、社員及びその家族の安全安心を確保すべく、感染防止に努めました。併せて、社会インフラを担う企業の一端として、事業継続に向けた対策を随時実施いたしました。

また、今般のコロナ禍に伴い大きく変化した社会環境は、一過性のものではなく「ニューノーマル」として定着していくとの認識の下、事業ラインの変革を加速しております。自社の強みを発揮できるビジネス領域への経営資源の配分を柔軟に実施するとともに、クラウド化のさらなる加速を見据えたクラウド技術者育成の取り組みを強化しております。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期に比べ21億38百万円（13.2％）減収の140億91百万円となりました。利益面につきましては、各事業の需要に応じた柔軟な人材配置を進めるとともに、テレワークを本格的に導入したことによるコスト削減効果もあり、営業利益は前年同四半期に比べ２億21百万円減少の５億13百万円、経常利益は前年同四半期に比べ２億８百万円減少の５億79百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前期に計上していた一過性収益（違約金収入１億55百万円）がなくなったこと等により前年同四半期に比べ４億69百万円減少の３億98百万円となりました。

## （２）財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は158億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億12百万円減少いたしました。流動資産は133億63百万円となり、15億50百万円減少いたしました。主な要因は、仕掛品の増加（２億59百万円）、有価証券の増加（１億円）、受取手形及び売掛金の減少（11億14百万円）、現金及び預金の減少（９億14百万円）等であります。固定資産は25億22百万円となり、１億61百万円減少いたしました。主な要因は、投資有価証券の増加（１億85百万円）、繰延税金資産の減少（１億90百万円）、その他に含まれる保険積立金の減少（１億73百万円）等であります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債合計は68億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億81百万円減少いたしました。流動負債は33億８百万円となり、11億60百万円減少いたしました。主な要因は、賞与引当金の減少（４億49百万円）、未払金の減少（４億１百万円）、未払法人税等の減少（１億56百万円）、支払手形及び買掛金の減少（１億35百万円）等であります。固定負債は35億85百万円となり、21百万円減少いたしました。主な要因は、リース債務の増加（46百万円）、退職給付に係る負債の減少（60百万円）等であります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は89億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ５億30百万円減少いたしました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加（１億98百万円）、自己株式の消却に伴う資本剰余金の減少（７億57百万円）等であります。

なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の54.1%から56.6%となりました。

## （３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年３月期第３四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で営業活動に制限を受けたこと、及び一部の顧客による投資判断の延期が発生したこと等により、特に中堅・中小企業マーケットにおいて厳しい受注環境となりました。今後につきましても未だ新型コロナウイルスの収束の兆しが見えない状況にあり、引き続き厳しい受注環境が続くものと予想しておりますが、オンラインによる打合せ・商談の活用といったコロナウイルスとの共存を前提とした営業活動を進めることで受注獲得に努め、通期業績予想の達成を目指してまいります。

併せて、来期以降の成長に向けて以下の取り組みを進めてまいります。

- 長くお付き合いさせていただいている多くのお客様とともに、ニューノーマルに対応すべく新たなソリューションなどの検討を進めます。また、その実現性を高めるため社内スタートアップ制度を立上げ、積極的な調査研究を並行して進めます。
- 社会貢献活動として、当社ソリューションの地方自治体への活用提案や、大学研究室等で行われている災害シミュレーション等に貢献できる地理空間情報ソフトウエア群「Luciad」の活用提案などを行います。
- ニューノーマルに対応し、社員の働きやすさや生産性を向上していくための東京地区・大阪地区のオフィスの移転、分散オフィス化を進めます。

2021年３月期の連結業績予想につきましては、現時点では2020年７月28日に公表いたしました数値から修正はありません。なお、１株当たり当期純利益につきましては、当第３四半期連結会計期間において自己株式の取得及び消却を実施したことにより、2020年７月28日に公表いたしました数値から34円21銭に変更しております。

（注）業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## ２．四半期連結財務諸表及び主な注記

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>(2020年３月31日) | 当第３四半期連結会計期間<br>(2020年12月31日) |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 9,422,874 | 8,508,652 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,753,717 | 3,639,713 |
| 有価証券 | ― | 100,960 |
| 商品 | 246,807 | 201,705 |
| 仕掛品 | 263,133 | 522,137 |
| その他 | 228,554 | 391,388 |
| 貸倒引当金 | △357 | △567 |
| 流動資産合計 | 14,914,729 | 13,363,989 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 311,526 | 382,720 |
| 無形固定資産 | 366,769 | 331,443 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 806,196 | 991,989 |
| 繰延税金資産 | 455,964 | 265,503 |
| 差入保証金 | 299,701 | 282,302 |
| その他 | 496,251 | 320,633 |
| 貸倒引当金 | △51,671 | △51,681 |
| 投資その他の資産合計 | 2,006,443 | 1,808,747 |
| 固定資産合計 | 2,684,739 | 2,522,911 |
| 資産合計 | 17,599,469 | 15,886,900 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>(2020年３月31日) | 当第３四半期連結会計期間<br>(2020年12月31日) |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 711,822 | 575,966 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 9,996 | 9,996 |
| リース債務 | 66,220 | 74,966 |
| 未払金 | 1,395,755 | 994,685 |
| 未払法人税等 | 221,126 | 64,500 |
| 賞与引当金 | 1,022,870 | 573,110 |
| 役員賞与引当金 | 63,514 | 37,824 |
| 受注損失引当金 | 4,182 | － |
| その他 | 973,348 | 977,221 |
| 流動負債合計 | 4,468,835 | 3,308,270 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 20,012 | 13,348 |
| リース債務 | 80,511 | 126,685 |
| 退職給付に係る負債 | 3,483,944 | 3,423,346 |
| 長期未払金 | 21,970 | 21,970 |
| 固定負債合計 | 3,606,438 | 3,585,349 |
| 負債合計 | 8,075,273 | 6,893,620 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,775,100 | 3,775,100 |
| 資本剰余金 | 4,743,286 | 3,985,520 |
| 利益剰余金 | 1,847,800 | 1,806,260 |
| 自己株式 | △495,232 | △479,416 |
| 株主資本合計 | 9,870,953 | 9,087,464 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 165,703 | 364,118 |
| 為替換算調整勘定 | 1,875 | 1,315 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △514,337 | △459,617 |
| その他の包括利益累計額合計 | △346,758 | △94,184 |
| 純資産合計 | 9,524,195 | 8,993,280 |
| 負債純資産合計 | 17,599,469 | 15,886,900 |

## （２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自 2019年４月１日<br>至 2019年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自 2020年４月１日<br>至 2020年12月31日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 16,230,050 | 14,091,765 |
| 売上原価 | 12,270,733 | 10,404,544 |
| 売上総利益 | 3,959,317 | 3,687,220 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,224,122 | 3,173,911 |
| 営業利益 | 735,194 | 513,309 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 23,025 | 20,772 |
| 助成金収入 | 11,525 | 41,519 |
| その他 | 19,639 | 12,003 |
| 営業外収益合計 | 54,189 | 74,295 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 552 | 624 |
| 保険解約損 | － | 5,959 |
| 為替差損 | － | 885 |
| その他 | 211 | 176 |
| 営業外費用合計 | 763 | 7,646 |
| 経常利益 | 788,621 | 579,957 |
| 特別利益 | | |
| 違約金収入 | 155,820 | － |
| 特別利益合計 | 155,820 | － |
| 特別損失 | | |
| 事務所移転費用 | 1,690 | 1,917 |
| 特別損失合計 | 1,690 | 1,917 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 942,750 | 578,040 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 140,185 | 76,802 |
| 法人税等調整額 | △65,278 | 102,976 |
| 法人税等合計 | 74,907 | 179,778 |
| 四半期純利益 | 867,842 | 398,261 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 867,842 | 398,261 |

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自 2019年４月１日<br>至 2019年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自 2020年４月１日<br>至 2020年12月31日） |
|---|---|---|
| 四半期純利益 | 867,842 | 398,261 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 33,374 | 198,414 |
| 為替換算調整勘定 | △6,977 | △560 |
| 退職給付に係る調整額 | 56,175 | 54,720 |
| その他の包括利益合計 | 82,571 | 252,574 |
| 四半期包括利益 | 950,414 | 650,836 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 950,414 | 650,836 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | － | － |

## （３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2020年10月27日開催の取締役会決議に基づき、2020年10月28日付で、自己株式1,605,100株の取得を、2020年11月30日付で、自己株式2,000,000株の消却を実施しております。

この結果、当第３四半期連結累計期間において、資本剰余金が757,766千円、自己株式が15,815千円減少し、当第３四半期連結会計期間末において、資本剰余金が3,985,520千円、自己株式が479,416千円となっております。